

雫石町小学校適正配置検討委員会
第1回検討委員会議録

平成24年7月9日

雫石町教育委員会

平成24年7月9日雫石町小学校適正配置検討委員会を招集した。

場 所 雫石町役場2階201号会議室

時 間 19時00分～21時00分

1. 出席委員

委員長	立	花	正	男
副委員長	高	橋		繁
委員	平	子		圭
委員	足	立	頼	子
委員	坂	井	和	久
委員	栗	木	将	史
委員	櫻	田	正	行
委員	中	南		博
委員	志	戸	前	正勝
委員	村	田	賢	一
委員	煙	山	和	彦
委員	村	田		崇
委員	高	橋	與	右衛門
委員	小	赤	澤	直子
委員	吉	田	敏	子
委員	佐	々	木	登和子

2. 欠席委員

無し

3. 事務局から説明のため出席した職員

雫石町教育委員会教育長	吉	川	健	次
雫石町教育委員会学校教育課長	高	橋	啓	二
雫石町教育委員会学校教育課主査	田	辺		茂

4. 書 記

雫石町教育委員会学校教育課主任	坂	井	一	博
-----------------	---	---	---	---

5. 開会宣言

高橋課長　ただ今より第 1 回雫石町小学校適正配置検討委員会を開催します。よろしく
お願いいたします。

田辺主査　2. 委嘱状交付　皆様に委嘱状を交付するところですが、代表して立花正男先
生に委嘱状をお渡しします。続きまして、3. 教育長挨拶。

教育長　皆さんこんばんは。今日はお忙しいところお集まりいただき大変ありがた
うございます。私は昨年 3 月から雫石町教育委員会教育長を務めております、吉
川健次と言います。この後自己紹介をしていただきますが、知識経験者 2 名、
PTA 代表者 10 名、学校関係者 2 名、公募による地域の代表者 2 名、合計 16 名の
皆様に委嘱しました。どうかよろしくお願いいたします。

皆様ご存じのとおり、雫石の小学校は明治初期から 130 数年になろうとし、
地域に支えられた歴史と伝統のある学校ばかり。また、卒業生は世界や日本各
地において大活躍している。しかし、全国的に少子高齢化が進行。本町におい
ても例外ではない。児童がある程度の集団の中で多様な価値観に触れながら切
磋琢磨し、社会性を身に付け、教育水準の維持・向上につながるようより良い
教育環境を第一に考えた場合、雫石町においても小学校の適正規模、適正配置
を避けて通るわけにはいかない。今はそれについて検討すべきと考えている。
委員の皆様には小学校の適正配置、適正規模に係る基本的な考え方と具体的な
方策について吟味・検討いただき、今年度中に方向性を見出していただければ
ありがたい。今日は雫石町の現状と課題、児童数の変化、学校の適正規模、適
正配置の基本的な考え方について説明します。子供達のために慎重審議・協議
いただくようお願いし、挨拶とします。どうかよろしくお願いいたします。

田辺主査　4. 委員自己紹介ということで、2 ページ目の名簿の順番にお一人ずつ自己紹
介をよろしくお願いいたします。

委員長　岩手大学の立花と申します。よろしくお願いいたします。元々は中学校教員
で、平成 13 年に指導主事として雫石町に。途中人事で変わりましたが 13 年、
14 年の中でお世話になりました。教育長は私の教育実習の指導教官でずっとご
指導いただいております、これからもよろしくお願いいたします。

副委員長　西和賀町長時代に 7 校あった小学校を旧町村ごとに 2 校にまとめるため諮問
機関を設けて検討。議決をしていただき現在 2 校になっている。いずれ学校統
合は総論として大変みんなが賛成するが、いざどのようにこの学校をどうす
るかとなると様々な問題が発生し、色々な感情論あるいは跡地領等大変な問題
がたくさん出てきた。委員に選ばれた以上そういう経験を少しでも参考にし、
本当に雫石の教育が充実・発展するためにも適正配置ということに心を決めて
皆さんと共に考えていきたい。よろしくお願いいたします。

(PTA 代表者自己紹介) (学校関係者自己紹介) (公募委員自己紹介)

田辺主査 ありがとうございます。5. 教育委員会事務局紹介を課長お願いします。

高橋課長 私から紹介させていただきます。(事務局紹介)

田辺主査 続きまして、6. 会議の公開等の取扱いについて申し上げます。

高橋課長 次第資料 3 ページです。会議の公開に関する事務取扱要綱があります。第 4 条でまだ委員長等が決まっておられません。決まってない場合、所属の担当課の長が仮決定をするということで、原則として公開で進めています。これから委員長が選任されます。選任された場合はその下で皆さんと審議し、公開か非公開か決定していただく。これについて公開条例の 7 条については非公開。この中で感情等々も出てくると思いますが当面公正な会議ということで、公開で考えている。委員長が決定されて公開・非公開を決定していただきたい。

田辺主査 続いて、7. 委員長の選出についてということで、検討委員会の要項第 4 条にありますので、この場で委員長を選出していただきます。委員長の役職として 4 条 2 の形になっております。この場で委員長を皆様から選出していただきたいと思えます。どなたかご意見ありますでしょうか。

委 員 事務局案は。

高橋課長 事務局としましては立花先生を委員長にお願いしたいと考えておりました。

田辺主査 皆様いかがでしょうか。

委 員 いいです。

田辺主査 ありがとうございます。それでは委員長という役職でお願いできればと思えます。協議の方からは委員長の進行でお願いできればと思えます。

委員長 ご指名されて皆さんの賛同を得ましたので、委員長をやらせていただきます。よろしくお願いいたします。次に副委員長の指名ということですが。

高橋課長 これにつきましては委員会要項第 4 条第 3 項にありますので。

委員長 私が指名してよろしいですか。では高橋先生にお願いしてよろしいですか。

副委員長 私でよろしければ。

委員長 ありがとうございます。よろしくお願いいたします。それでは (2) 会議の公開・非公開について事務局から説明をお願いします。

高橋課長 これから審議・協議していただきます。個人情報的な部分は特に出て来ないと思えますが、やはり地域性の思い・感情の部分も踏まえて会議録等については誰の意見か特定できない形で開示する方向。忌憚のない意見を出していただけるよう、公開で良ければ公開にしますし、やはり自由活発な意見を出すために非公開がいいのであれば、非公開として徹底していただければと思えます。

委員長 これは回ごとに公開・非公開を決めることは出来ないか。今日決めるともう全部決めた形になりますか。

高橋課長 例えば、一部公開といった形は出来まして、個人的な情報、学校名が出され

てまずいという場合の会議については非公開に出来ると思います。

委員 農業委員の時にもありましたが、議事録どうするかで今は全面公開ですが、固有名詞は隠し文字で文章はそのまま公開。気にしている方からの問い合わせもあると思う。出来るだけ公開出来る形で検討されているのでは。

委員長 よろしいでしょうか。

委員 例えばこういう会議においてこういう意見があった等、固有名詞を除いて基本的に公開される部分を例えば今後の地域の意見懇談会などで、PTA 代表として話し合ってきた、とオープンにしていという捉え方でいいです。

高橋課長 マスコミの方も来ていますし、私の考えは会議は公開で進んでいますが、そのもう 1 つが議事録等の公開。これについては会議終了後にこちらで作成。その後すぐ公開か提言をいただいた後に全体を公開かといったことも考えられる。その段階で固有名詞等特定される部分は除く形での公開を考えている。

委員長 今心配されているのは地域に戻ってこの会議内容とか話題についてで。

高橋課長 ここで公開になれば、当然地元に戻って内容をお話されてもよろしいかと。

委員長 固有名詞等除いてということ。

委員 個人のモラルです。

委員長 それではこの会議については原則公開ということよろしいでしょうか。個人名固有名詞等の場合はその都度話し合っ非公開もあり得るということでご確認いただきたい。よろしく願いいたします。

3. 雫石町小学校適正配置検討委員会 検討事項事務局から説明をお願いします。

高橋課長 適正配置検討委員会の設置趣旨は教育長が申しておりましたので再確認を。小学校の適正配置、適正規模については住民の生活への影響が非常に大きいと考えている。こちらで方向性や計画を立て教育委員会が独自で進めるのではなく、やはり多くの方々の意見を聞いて意見提言を頂いた上で取り組みの方向性を打ち出していくと本検討委員会を設置したので、忌憚のないご意見を出していただきたい。検討事項については書いてあるとおりでございます。

<検討事項について資料説明>

<今後のスケジュールについて資料説明>

委員長 設置の趣旨と検討事項の説明がありましたが皆様からご質問ございませんか。

委員 スケジュールで次回小学校視察と提案されているが、例えばこのメンバーで 1 日動くのか、小学校どの程度回るか等具体的にどのようなスタイルで行うか。

高橋課長 16 人全員となると多い部分もある。2 班に分かれて例えば複式の学校と 1 学年 2 クラスの授業の様子と両方見ていただきたい。1 日 2 校回る形を予定。

委員 委員会として検討ということだが、我々 PTA からすると学校・PTA の代表として意見を話す時、PTA の意見や地域の意見もある。それを踏まえて、地元や地域の人達とコミュニケーションをとる機会は委員会内でセットされているか。

高橋課長 本来であればこの委員会の中で地域に入って色々な人の意見を吸い上げ、それを提言としてまとめるのがよろしいかと。ただ、時間的な部分もありそこまで考えていなかった。委員会で提言という形でいただき教育委員会で方針を打ち出す。次は準備委員会みたいなもので地域に入っていこうかと考えていた。

委員長 あくまで計画を立てることの話し合いの部分ということで。

委員 関連して、地域のことを反映するために独自に PTA の人達とのコミュニケーションの中で、情報をくみ上げたりする活動は差支えないか。

高橋課長 差支えはありません。

委員長 各校の役員会等で話したり意見を聞くことでその意見をこの中で反映して、それらの事項を検討しなければいけないという委員会です。それでは(4)適正配置について現状と課題を事務局から説明お願いします。

高橋課長 別冊資料の雫石町小学校適正配置についての資料を見てください。基本方針策定の背景と目的は検討委員会の趣旨と同じ形になります。〈資料説明〉

委員長 資料に基づきまして雫石町の現状、今後の見通し等説明、皆様から何かご質問ありましたら出していただきたい。

委員 学校規模のメリット・デメリットの説明いただいたが、一番気になるところで、例えば複式学級と2~3クラスとで学力差は統計的に問題あるか。

高橋課長 学力差については人数が多い学校はそれなりの子供達が多数おりますのでその平均になる。小規模校については平均をとってもほとんどその子の学力になるので一概には判断できない。

委員 分母分子によって違うと思うが実際教育の現場、先生の立場から見て複式に対する弊害・いい部分が学力的にあれば教えていただきたい。

委員長 吉田校長は複式の経験はなかったですか。

委員 学級担任はないが〇〇小の校長で2年間おりまして、小規模の複式の良さを最大に生かした指導をしていこうと。各学年だとその学年の学習しか出来ないが、時間に限りはあるが複式の中で一緒に時間を上手く利用し、下の学年は予習、上の学年は復習という形の授業、特に算数は工夫していて、その時は大変効果的な授業をしていると思っていた。国語も同様だが、理科・社会となるとやるのが違うので、副校長など担任以外も一緒に教え、単式の授業を実施できるようにしていたが、一概に複式だから子供の学力が落ちるということにはならないと。工夫次第で子供達は非常に伸びるという印象を持っている。

委員 小規模化のデメリットで切磋琢磨という言葉がよく出ている。今の話を聞くと学力的にも運動的にも特に大差はないと考えていいか。例えば中学校に上がった際、小規模校の子供達は特別何かが劣っているという点はあるのか。

高橋課長 そういうことではなく、一般的に人間が育っていく上で色々な方、広い方々とのコミュニケーションで人間が大きく成長していくと考えられている。小規

模で現状がだめで適正配置ではなく、通常・一般的にこれからどうしていくべきか。本当に子供のためかどうかという部分を考えていきたいと思っている。

委員 わかりました。もう 1 点。10 ページの参考で書いている児童数ですが、平成 25 年が 122 名、平成 29 年に 116 名で 5 年のうちに人数の差はあまりない。例えばこれから先平成 27 年から 29 年までのここに登録してある子供達が、町外へ出て行くこともある。一概にこの人数がそのまま学校に入るわけではない。

高橋課長 推計取るには、そういった部分の転出・転入の部分は見られないので、暫定的にその年に今現在の人口で推計するしか出来ません。

委員 それはわかるが、家の近くに学校があるから今のところにいる子供達がい、仮に統合して遠くにあるいはスクールバスで通うことになるとなると、家から近くて大きい学校に、と町外に出る考えを持つ親もいないとは限らない。

高橋課長 色々な考えの方がいます。今の小学校が小さくて大きい学校に行きたいと住所を移される方もいる。出来れば小規模校がいいと来る方もいるかもしれない。

委員 それは今の状態で、統合したところがいいから例えばそっちに来るとか。

高橋課長 いえ、今小規模校に入れたくなくて住所を移す方もおられる。

委員 逆に統合したことによって残るケースも考えられるのか。

委員長 あと皆さんから何かございますか。

委員 メリット・デメリットを挙げれば中学校に上がってどうかという疑問が出てくる。中学校関係者の意見は必要ないか。入れる予定は最初からないか。

高橋課長 例えばこの委員会で子供達にアンケートを取る等、意見を聞くことは可能。

委員長 委員会の中に中学校関係者はという部分では。

高橋課長 ないです。

委員 適正規模となると 12~18 学級で、今の 10 校を 2 校ぐらいに分けても多分町内 1 つの小学校にしなければ文科省の基準とする適正規模にはあたらぬ。実際どうなるかはわからないが中学校のように 1 校になってしまうと、中学校は町内 1 校というメリット・デメリットも関係してくる。町として適正規模をどう考えるかこれから審議していくと思うので、そう考えると中学校との関連を考える意見も参考になってあってもいいかと思う。

委員長 小規模校から中学校に上がった子供達の様子がどうかの話もありますから。

委員 7 月 2 日に民生児童委員との学校懇談会が中学校で行われ、年に 1 回授業参観をして最後に各地区に分かれて懇談会をやる。その中で、小規模校同士が集まり合同授業をやってコミュニケーションをとっていることで、1 年生になって集まった時に非常に仲間が早く出来やすいと。それが全くないとなじめない子がどうしても出てきて、それが吹き荒れる 1 つの素にもなりかねないと先生が話されていた。私の意見とすれば、お互いに団体生活を覚えるのは子供の時でないと思身に付かないと思う。それを考えれば最低でも 20~30 人の 1 学級にすると、

小学校は6学年ですから6学級あるような学校だといいかと。私の民生委員をやっている地区に小学校に入るからといって盛岡から引っ越してきた人がいる。滝沢だと過疎地になって若年層が少ない。スクールガードもよく立っているが子供達がすごく少なくて、でもあるところには新設校ができるそうで、地域バランスが上手くとれていないところもある。雫石の今の人口の動向は、土地利用偵察と産業構造を相当変えないと増えないことを考えると、今のままだとどんどん減少傾向。我々より子供達が長生きして将来支えてくれるわけだから、他に逃げられないようなものを我々はセットしていく責任があるかと。ただ、どこの学校に行っても不登校児がものすごく少なく、他の市町村の学校と違うと先生方がよく言っている。その辺は融和性があるかと。

委員 質問です。11ページで先日〇〇小の校長先生と話をした際に、児童の数が100人減ると総括するクラスの先生が配置されなくなるそうで、規模と児童数と先生の配置等について何か基準があれば参考に教えていただきたい。

高橋課長 6学級ある学校で90人を超えた場合に担任外が1人配置。6学級でも90人を割ると配置されない。そこがラインになっていました。

委員長 副校長先生含めて担任以外であればあると。

教育長 中学校関係委員についてで、意見を聞きたい場合は、要項にもあるように委員以外にも参加可能ですので、そういう形で進めていただければありがたい。

委員 限りがなくなる恐れもあるので必要に応じてやっていただければと思います。

委員長 第6条第2項に従って意見をいただく形にしたいと思います。

委員 スクールバスのことで、うちの地区は中学校に上がる時にスクールバスに乗れるか乗れないかでいつももめる。統合した時のスクールバスの問題の対応はあるか。バス停に近ければいいが距離的にスクールバスに乗れない家庭にあたればフォローが必要。バス停もきちんとした道路端でもないし、除雪がされないバス停もある。路線バスの時間もいまいちだったり、統合した時の一番の問題はそこかと。送迎が出来る人が家にいればいいが七ツ森地区はわりと核家族も多く、送迎の時間も限られるので考えていただければ助かると思う。

委員長 統合後の問題についても色々これから意見等出てくると思います。それらも踏まえながら色々な意見をいただければ。

委員 〇〇小は3・4年、5・6年複式で、1・2年は複式でないで、3・4年生になる時に親御さんが複式に不安を持っている。14人だと県や町からサポート教員が1人来るが、例えば担任の先生が黒板を半分使って5年生に問題解くように言って、解いている間に6年生に教える。サポートの先生がいれば、問題解いている5年生の児童を見回って教えることもできるが、〇〇小の場合はサポートの先生がいないので担任1人。単純に考えれば授業が半分しか割いてないと心配される父兄も中にはいる。でも学校の先生方も頑張っているの

何の文句もなく理解してくれているというのが実情。〇〇小は今年も女の子8人、男の子1人、6年生も女の子2人、男の子が1人と男子より女子の数が上回るケースがあり、私個人の意見としては統合もやむを得ないかと。PTAが仕方ないと捉えても、地域の方が反発というわけではないが、老人クラブが見守り活動して下さって、お世話になっている方が結構いるので地域の方が大変かと。実際はわからないが、例えば西山地区が〇〇小の校舎を使うとなった場合、〇〇小学区の老人クラブの方達が〇〇小まで行って奉仕活動とかやってくさるかと思うと、みんながみんな来てくれるとは限らないと思う。〇〇小や〇〇小は地域密着型でそういうモデルケースになってしまっている。率直な意見としては出来れば統合せずにこのままという思いを持っているのでは。すべての人が満場一致でOKとはいかないと思うが、そういう点では地域の意見も考慮していかないといけない問題。もし統合すると進んだ場合、何年度を目指しているか。3年後か5・6年先とか自分の子供が関係しているかどうか。身近な問題なのか、先の話なのかどうか決められないとは思いますが。

副委員長 沢内は医師探しをしていて西和賀町になっても大変だった。いいよと言う医師はいたが、学校を見たいと言って複式かどうか、幼稚園があるか、児童保育所がどうなっているか等聞かれ、ないと答えると、この話はなかったことといったケースがあった。医師に限らず皆様にとっても最大の財産は昔から子供なわけで。医師達は裸一貫で学校終わって、学校とか学力とか最大の財産になるから非常に気になる。その時に学校適正化は本当に重大な問題を含んでいる大事な部分だと思い知らされた。さらに、私は複式学級で育った。1年生36人、2年生35人合わせて71人が1つの教室で授業した経験がある。沢内村は先生を雇う財力がなく1人の先生で2学級を間に合わせていた。複式学級で育ったのでどこの学校もそうだと思っていたが今の時代は違う。文明もどんどん進み、学力に対しての考え方がペーパーテストだけではない。判断力・迅速性・適格性、総合的な人間力の素地あるいは糧のようなものを求められる。高橋課長が切磋琢磨の意味を伝えましたが、人の考えがさまざまあっていいという、そういうものを通して人は色々な感性とか問題解決能力を鍛えていく。そういう意味で適正な学校配置はこれからの雫石町をどう磨いていくか、産業にどう結び付けるかの基礎的な部分として最も重要な位置を学校教育は占めていることを私は実感を持って改めて申し上げた。

委員 他市町村でも今回のケースを踏まえているところ、例えば葛巻町も過去に4・5年かかってやっている。昨日の新聞に金田一中と仁左平中の統合のことも出ていた。そういう事例をどういうプロセスで結果が出ているかみなさんに紹介する機会があつていいのでは。

副委員長 合併前提の中で合併したならば小学校も中学校も適正配置を考えて3年以内

に目途をつけることを合併前の協議の中で謳われた。それに則って検討会開き、ぎりぎりの4年目時に提出、決議、そして私が退任してから実際になったが、PTAの方よりも地域の皆さんが大変。私達が育てきたこの学校をさっさとなくすのかという投書が来たり、町長は本当に沢内人かと来たり。でも理屈を納得するまでに屈折はありますし、みんなが冷静に考えることに熱くなっていい。熱くなりながら冷静になり、また熱くなり、冷静になり。その繰り返しをしないところという検討は傾きがないと思っていた。合併という事実があって条件を確認済みで合併したものだから、スムーズにいったが必ずしもスムーズではなかった。老人や行政区という新しくできた新興住宅地は別として、古くある伝統的なところは学校がなくなるのは大変なこと。コミュニティー所が欠如し、運動会、学芸会に腰曲げてでも来て良かったという思いをなくしてしまうのか、とも言われた。そういうのはこれからいっぱい出てくると思う。子供が将来大変な国際情勢の中、これからの日本を支えていくことを考えた時に、このままでいいのかということ冷静に考えていく役目が私達にあるということ委員の皆さん感じられていますが、覚悟していただいた方がいいと思う。

委員長 この委員会での検討事項を踏まえて、委員会が方針を出した後に教育委員会として今後の見通しについてまた基本計画を立てていく形になるかと。今、何年後にどうなるということは、今始まったばかりですので答えられないかと。雫石とよく似ているケースに奥州市の前沢区がありますが、前沢は中学校1校、小学校7校。来年度7校が1つの学校に統合する段取りになっている。すごく小さい学校が7校あって、前沢小を新設の上で統合することに決まり、来年4月から始まる。県に聞くと予想以上に早く統合が進んでいる話。色々な地区での学校統合に雫石が加わるかどうかはこの委員会での検討事項になると思う。時間も押してきましたが、まだ説明していただくことがありますので。

副委員長 スクールバスの件ですが、西和賀町のスクールバスが何台と文部省に認められている。それはへき地だからで。国道も鉄道もなく豪雪で大変でしたから。3~4台あってそれが各地区に登下校をまとめて動く。バス会社等と契約するのではなく、教育委員会所属の嘱託の運転手を頼んでいて通学問題はそこまで大きくならなかったが、雫石では交通機関があるから優遇措置がない。そういう優遇措置をとることを考えておく必要があるかと気がついて話しました。

委員長 PTAの方が100m違うだけで乗れるか乗れないかというのは確かに出てくる。色々な意味での見解はまだ出てくると思うので今後また議題にしていきたい。それでは5.意識調査の結果について高橋課長からお願いします。

高橋課長 資料10 雫石町立小学校適正規模等に関する意識調査結果のまとめ、これは平成22年9月に検討委員会を立ち上げる前にまず保護者の意見をと調査を実施。＜雫石町立小学校適正規模等に関する意識調査結果について資料説明＞

委員長 平成 22 年 10 月のアンケート集計結果ということで今概略について説明していただきました。何かご質問ありましたら受けたいと思います。

委員 アンケートは保護者の他に学校単位ではとったか。教職員はとったか。

高橋課長 学校単位でとって教職員はとっていません。

委員 教職員からもとるとその学校の問題点や良い点もとれると思う。保護者の意見を組み合わせてさらにいいものになると思うのでぜひやっていただきたい。

委員 学校単位でのデータはあるということですか？

高橋課長 クロス表みたいな形ではできます。ただ、今おっしゃられているのは教員の方々へということ。こちらの資料のグラフについても学校単位のものも出ている。ただやはり教員は必要なのかなど。さらには今、教育支援とか保護者はどう考えるかと言った部分も必要かと。

委員長 先生方にアンケートを取るのは非常に大事だと思う。複式というのは 2 学年分の教材研究をしないといけないから非常に負担になるのは確か。

委員 教職員のアンケートですが、我々は大きい学校でも小さい学校でも最善を尽くすつもりで勤務している。もちろんメリット・デメリットはあるが大きいから小さいからという意識をしていない。先の学力もありましたが、比較的大きい学校歩いて今回〇〇小に来て複式を初めて見たが、今まで考えていた複式とは少し違い、複式ってこんなに丁寧にやっているのを改めて知った。

委員 良い悪いではなく、統廃合進めるにあたり当然ここには大規模・小規模という一般論しか書かれていない。各小学校単位で見た時にこういう一般論は多分通用しない。当然小規模でも大規模でもいい所はたくさんあるし、でも悪いところもある。でもこの一般論の、例えば切磋琢磨して協調性や社会性を育むとは大きかろうが小さかろうが育めること。学校の勉強でなくてもスポーツ活動や自分の趣味で身に付くもので、それを取るのではなく教育現場の方が指導して感じる所はあると思う。教育どうこうではなくその思いを聞かせてほしい。

委員 回答者の性別を見ると女性が 87.7%で、やはり子育て真っ最中の第一はお母さんで、お母さん達が不安に思わない統廃合になれば一番いい。熱心なお父さん達だから会員になって下さったと思うが、普段の生活はお母さん中心で小学校はやっていると思う。お母さん達の意見を聞いてもらえればいいと思った。

委員長 回答を見ると現在の通学時間が長すぎるという方が 67 人、10km 以上という方も 7 人いる。色々なことの適正というか子供達の体力的な面もあり、物理的な通学距離もあるはず。そういうことも検討できるよう入ってくるかと。今後こういう資料を元にして会議を進めていかないとならないと思っている。

委員 こないだ中学校で通学について聞いて、家庭が送迎しているケースが多く、スクールバスが空で走っている場合が多いと。もちろん時間の問題もあってスポーツとか何かやっていて時間が合わないとか親が迎えに来るかもしれない。機

械的に動いているようなので、それを考えればもう少し効率的に動ける工夫がされてもいいかと。我々サラリーマンでも 2km 以上で通勤手当なるものが出るが、子供達も 2km が限界かと。2km 以上は乗れるような見直しが必要かと思う。

委員長 中学校の生徒達はクラブ活動優先でバスに遅れたから迎えに来てとなっているかもしれない。色々な面で検討事項、スクールバスは先程の意見もあります。今後1つの議題として話し合っていきたい。

長くなりましたが、今日の協議1~5については今、学校教育課長から明示してもらいました。その上で何か皆さんからその他ということでご提案等ございましたらどうぞ。これから色々なご意見、地域からも色々なことを問いながらみなさんにご意見をお伺いしなければならないと思いますし、色々な意見がありますので100%の賛成、全員の合意ということにならないと思う。最終的には委員会の意見として教育長に検討委員会の結果をまとめて提出します。これからもどうぞよろしく願いいたします。それではこの協議について教育委員会にお返しします。

6. 閉会宣言

田辺主査 ありがとうございます。それでは9. 閉会ということで課長お願いします。

高橋課長 長時間にわたり本当にありがとうございました。一方的な説明でしたが今日は雫石町の小学校の現状をまず分かっただいて、この資料をもとに再度持ち帰っていただき検討していただければと思います。不明な点がございましたら学校教育課にご連絡ください。委員名簿を含めた会議資料について、報道機関にお渡ししておりますので、もしかすれば委員の皆様取材があるかもしれませんが。その際は守秘義務の部分だけに配慮していただき、対応していただければと思います。本当に長時間に亘りましてありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。